

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 25 年 7 月 18 日 (2013.7.18)

【公開番号】特開 2011-255527 (P2011-255527A)
 【公開日】平成 23 年 12 月 22 日 (2011.12.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-051
 【出願番号】特願 2010-129560 (P2010-129560)
 【国際特許分類】

B 3 2 B 27/36 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/36

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 5 月 30 日 (2013.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 2 層以上のポリエステルからなる層が積層された積層ポリエステルフィルムであって、両最表層のうち単位体積あたりの粒子数が多い最表層を層 A もう一方の最表層を層 B としたとき、層 A および層 B の粒子体積の比 (層 A / 層 B) が 3.0 以上であり、かつ、層 B の表面の中心線平均粗さ $S R a$ が $5 \sim 25 \text{ nm}$ 、十点平均粗さ $S R z$ が $100 \sim 400 \text{ nm}$ であり、かつ、フィルムの厚みが $25 \sim 55 \mu \text{ m}$ である二軸配向積層ポリエステルフィルム。

【請求項 2】

フィルム表面に塗布層を有しない状態で 160、30 分の加熱処理後の層 A の表面に析出するオリゴマー量が $6.0 \text{ mg} / \text{m}^2$ 以下であることを特徴とする請求項 1 に記載の二軸配向積層ポリエステルフィルム。

【請求項 3】

層間絶縁樹脂支持体用として使用される請求項 1 または 2 に記載の二軸配向積層ポリエステルフィルム。

【請求項 4】

150 熱収縮率が一方の方向で 1.0 ~ 2.5 %、該一方の方向に直交する方向で 0.3 % ~ 1.0 % である請求項 1 ~ 3 の何れかに記載の二軸配向積層ポリエステルフィルム。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 の何れかに記載の二軸配向積層ポリエステルの層 B 側表面に直接または離型層を介して層間絶縁樹脂層が設けられていることを特徴とする層間絶縁樹脂形成材。